

Lend a Hand
手を貸そう国際ロータリー第2750地区多摩東グループ
東京多摩グリーンロータリー・クラブ

Weekly Report



クラブ会長テーマ 手を貸そう! そして強く握ろう!

2003-12-10 第633回例会 NO.14-22 2003-12-17 発行

- ◎司会 SAA委員会 高木 淳光
- ◎点鐘 会長 大松 誠二
- ◎ロータリーソング「それでこそロータリー」
ソングリーダー 菊池 敏
- ◎お客様紹介 会長 大松 誠二
- ・多摩消防士長 安永 豊 様
 - ・多摩消防署総務担当係長 野村 福松 様
 - ・岡山西南RC 椎原 裕二 様
- ◎会務報告 会長 大松 誠二
- ・12月8日の3クラブ合同チャリティゴルフコンペについて3クラブでの第1回の特別事業として行いましたが、ゴルフ参加者は138名で多大なチャリティ募金を皆さんからいただきました。わがクラブから知的障害者の支援組織である「多摩市手をつなぐ親の会」に募金をお渡ししました。菊池実行委員長をはじめとして実行委員の活躍と、ゴルフには参加しないで裏方で活動していただいた会員の皆様に改めて感謝申し上げます。
 - ・RI会長に対する謝礼問題について「ロータリーの友」及びクラブ週報にも取り上げられましたが、先日のロータリー研究会で地区としての見解を質問しました。その回答が田中作次RI理事より来ました。予想通りのお答えですが、皆さんのご感想はいかがでしょう?御意見お聞かせ下さい。(田中 作次RI理事の回答は例会にて回覧済みなので省略します。)
 - ・先日行いました特別事業「白楽荘」訪問について、中村施設長よりお礼状が届いております。寄贈しました車椅子を大切に使用させていただくとのことです。
- ◎幹事報告 幹事 藤本 吉文
- ・例会後事務局にて理事会を開催します。役員理事の方お集まり下さい。
 - ・小泉博会員から退院内祝いとして寄付をいただきましたので、ニコニコとさせていただきます。
 - ・東京高輪RC、東京五反田RCより下半期の例会変更のお知らせが来ています。
 - ・地区大会登録名簿を回覧いたします。
 - ・国際大会登録料締切りがせまりました。まだの方は大至急登録して下さい。
- 【委員会報告】
- ◎出席報告 出席委員会 小林 正
- ・会員総数 44名
 - ・出席義務者数 43名(出席免除者4名)
 - ・出席者数 31名
 - ・欠席者数 12名(事前MU0名)
 - ・出席率 72.09%
 - ・欠席者:遠藤 二郎、藤原 正範、萩生田政由、平野 行廣、北村 幸彦、正房 正孝、佐伯 和廣、菅井 信夫、杉野志保子、高村 弘、高野 範城、由井 眞司
 - ・補填MU:なし
- 11/26 最終訂正出席率 72.09%

東京多摩グリーンロータリー・クラブ事務局

東京都多摩市落合1-43 京王プラザホテル多摩561号
TEL 042(372)6463 FAX 042(372)6491
E-mail tamagrc@cello.ocn.ne.jp【例会場】京王プラザホテル多摩・たまつばき4階
【例会日】●毎週水曜日12:30 ●月の最終例会18:30
【会長】大松誠二 【幹事】藤本吉文
【クラブ会報委員長】赤尾恭雄 【副委員長】正房正孝
【委員】遠藤二郎・平野行廣・佐伯和廣・澄川昇・高木淳光・由井眞司・小田泰機

◎ニコニコBOX 親睦活動委員会 宮村 宏

大松 誠二 3クラブ合同チャリティゴルフ大会ご協力ありがとうございました。おかげ様で、大盛会でした。

藤本 吉文 3クラブ合同チャリティゴルフ大会に参加された方々ご苦労様でした。又プレーをせずに手伝って下さった方々どうもありがとうございました。

小泉 博 皆さん、こんにちは。

足立潤三郎 安永様、卓話宜しく願います。小泉会員退院おめでとうございます。

赤尾 恭雄 多摩消防士長 安永さん、ご苦労様です。興味ある卓話、楽しみにしています。

津守 弘範 多摩消防署、野村さん、安永さん、宜しく願います。

加藤喜三郎 多摩消防署 安永さん、卓話楽しみにしています。小泉さん、お久しぶりです。

高木 淳光 小泉さん、退院おめでとうございます。

田島真由美 今年も押し迫って日に日にあわただしくなりますね。

伊澤ケイ子 楽しいクリスマス例会になるよう準備始めています。ご協力宜しく。

関岡 俊二 藤本さん、本日は幼稚園消化訓練でお世話になりました。

菊池 敏 小泉さん、お元気でおめでとう。チャリティゴルフ多数のご参加ありがとうございました。

◎「第53回社会を明るくする運動」協力感謝状贈呈式
津守 弘範会員より 大松会長へ



◎小泉 博 会員 (挨拶)

・皆さん御心配おかけしました。入院中は多大なお見舞いありがとうございました。特別事業等参加できず大変御迷惑をおかけしましたが、これからも宜しくお付き合いください。

本日の合計¥28,000(累計¥447,357)

(小泉会員全快内祝¥10,000を含みます。)

◎ロータリー財団委員会 委員長 宮本 誠

・皆様のおかげで当クラブ全会員の80数パーセントの御協力をいただきました。今回の特別事業「白楽荘」訪問に対して、RI財団から3,500ドルの援助を受けたわけですが、十分なお返しができことを報告いたします。御協力ありがとうございました。

◎ゴルフ同好会 菊池 敏

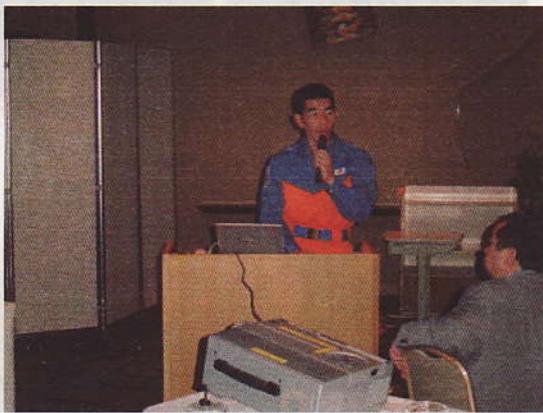
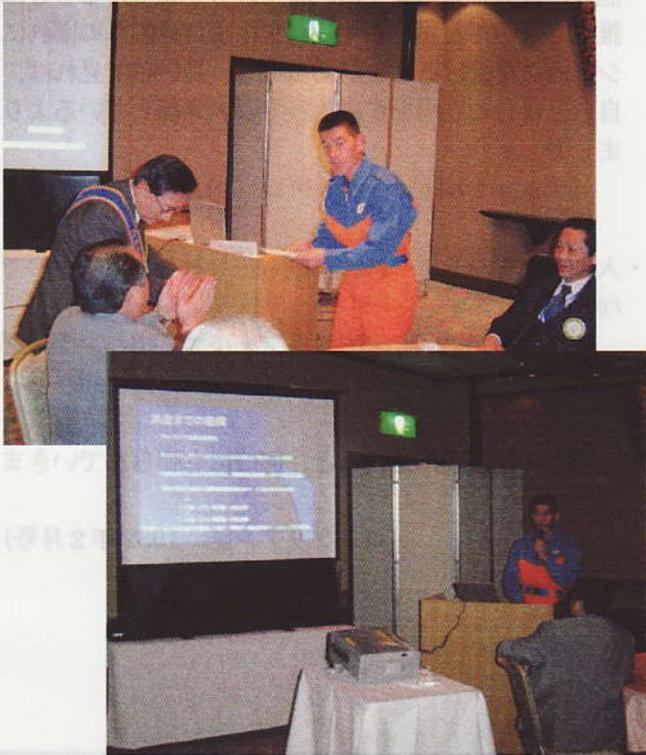
・先日のチャリティゴルフ、御協力ありがとうございました。



◎卓話

『アルジェリア北部地震における国際緊急援助の概要』
多摩消防士長 安永 豊 様

活動記録のビデオを放映しながら、現地での活動実態を説明。



◎点鐘

会長 大松 誠二
(例会担当：高木 淳光)

12月は「家族月間」です。

本年度、新たに制定されたロータリー特別月間です。ロータリアン及びその家族、元ロータリアン等々、ロータリーと関わりを持つすべての人々にロータリーの輪を拡大することが目的とします。

ポール・ハリスを我々の心に！ Part 17

春になって楓の木が十分暖まると、樹液が出始める。楓林を持っている農家は、一斉に砂糖製造の準備を始める。楓を利用した砂糖づくりは重労働だが、これもまた春のお祭りの一つだった。「労働と遊びが半分ずつの楽しい仕事」だった。

「砂糖祭り」に参加する人達は、一種独特な雰囲気の中でお祭りを始める。寒くて長い冬が太陽に降伏し、太陽が良く照れば照る程に樹液も良く出る。暖かい日が続けば続く程、樹液がポタポタと引きも切らさずに桶を伝って盛んに手桶に落ちるようになり、暖かい太陽に感謝している風情だった。

バーモントの農民は、村の子供達に「楓林に遊びに来て、樹液、砂糖、シロップを腹一杯食べて下さい」と、特別に招待している訳ではないが、子供達にサービスするには、「砂糖祭り」が一番いい機会だと考え、この時だけは祖先伝来の節約の掟を破ることにしていた。春休みが来ると、子供達は「待ってました」とばかり全員ゴム長靴を履いて谷間の小道をかき分けながら、ぬかるみを渡ったり、垣根を越えたりして山を登り、一目散に楓林へと急いだ。太陽は、冬の間失った時間を取り戻さんばかりに燦々と照り映え、あたかも「砂糖祭り」を祝福しているかのようだった。

3月も下旬になると、雪囲いの中の残雪を除いて殆ど雪は解けてしまうが、その頃になって雪が降ると砂糖雪と呼んでいた。それは、櫓が楓林の中で活躍でき、農民が樹液を集めやすくなるように、神様が雪を降らすのだ、と言い伝えられていた。

季節の終わりを告げる砂糖雪が降ると、子供達は丘や谷間で野生動物の通り道を調べて歩いた。そこここマーマットの慎重な足跡や立ち止まって若葉を食べた兎の乱れた足跡があったり、狐たちが通過して行ったふんわりとした足跡を発見したりした。或は、山うずらなど鳥の特徴のある足跡が見付かったり、そここの草むらや凍り付いた雪の下には小さな野鼠が飛び出してきた微かな足跡が残っていた。リスの足跡は無数にあるが、彼等

は、木の梢で罵り合っている姿や赤キツツキ・四十雀を驚かして柵の古木やブナの幹をグルグル回って追い掛ける姿の方が愉快だった。

(コーナー担当：赤尾 恭雄)

【ロータリー知識】 入門編
＜ロータリーと地域社会の認識＞

ロータリーに対する一般社会の認識度は下記に代表される程度かと考えます。

「ロータリークラブ」 新辞林 三省堂

国際親善と社会奉仕を目的とする実業人、専門職業人の国際的な社交団体。1905年アメリカに始まる。

「ロータリークラブ」カタカナ語辞典 Yahoo! 辞書検索

実業家、知識人の国際的団体。国際親善、社会奉仕をモットーに1905年弁護士ハリスによってシカゴに創設。各国のロータリークラブが集まりR I (ロータリーインターナショナル)を構成、現在会員数約95万(日本は9万)クラブ数約2万(日本は1600)各地に於いて1業種1人を原則とする。

辞書への掲載は字数の関係もあり、致し方ないかと考えますが残念なことに何処を探しても、ロータリーの根幹である『職業奉仕』に関して触れられているものは、一切見当たりません。「ロータリーは国際親善と社会奉仕をモットーとする社交クラブ」という程度が世間一般の認識のようです。この責任はロータリー自身に有るのではないのでしょうか。最近のロータリークラブの行動は、ともすれば地域社会に媚びるかの様なボランティア活動、寄付寄贈行為等の安易な社会奉仕に偏向しているのが現状です。先ずロータリアン自身、自覚を新たに真の「職業奉仕」を理解して、自ら行動し地域社会に貢献する姿を示し、ロータリーに対する認識を変える様、努力すべきと考えます。ロータリーの目的を示す綱領をもう一度謙虚に復習しようではありませんか。

ロータリーの綱領は、有益な事業の基礎として奉仕の理想を鼓吹しこれを育成することにある。

ロータリー活動の根幹は職業奉仕にあり、クラブは他の奉仕団体には無い「職業奉仕」の理念を第一義に実践することをより一層推奨すべきであり、ロータリアン各自も特色あるクラブの会員として、ロータリーの奉仕の原点を真摯に理解し、有意義な使命に参画していることを自覚もって、率先し職業を通して地域社会に奉仕する

ことを実践しようではありませんか。地域社会は、我々ロータリアンの行動を的確に評価している様です。

(コーナー担当：遠藤二郎)

■ポール・ハリス語録■

・他人が自分を見るように、時々自分を見つめることは誰にも適切だと思います。たまたま自分のうぬぼれにショックを受けることがあっても、長い目で見れば、自らと自分の立場を悦に入って過大評価しているより、ましでしょう。

(ナショナル・ロータリアン 1912年3月号より)

・人は年を重ねるにつれ、喜びも悲しみも永遠のものでないと知ります。

(1922年、米国カリフォルニア州ハンチングトン・パークの青少年団体でのメッセージ)

・人間の願望は満たされると、何倍にも膨らんでいきます。

(ロータリアン誌 1932年2月号)



もうすぐ、クリスマス